

## 授業科目 栄養学 II

【担当教員名】 塚原 典子		対象学年	2	対象学科	健康				
		開講時期	前期	必修選択	必修				
		単位数	2	時間数	30				
【ディプロマポリシーとの関連性】									
知識・理解		思考・判断		態度					
◎		○		○					
【概要・一般目標：G10】 健康の増進には、各ライフステージに適した栄養素等の摂取、運動、休養が重要である。そこで、日本人の食事摂取基準の理解とともに、妊娠・授乳期、乳幼児期、学童期、思春期のライフステージにおける生理的特徴、身体状況や栄養状態に応じた栄養管理、健康と栄養に関する事項、さらには現在の食生活上の問題点および課題について学ぶ。									
【学習目標】 1. 日本人の食事摂取基準策定の考え方や科学的根拠について理解習得する。 2. 妊娠、発育、加齢など、生体の生理的变化等に伴う栄養状態の変化について理解する。 3. 各ライフステージにおける栄養アセスメントに必要な基礎的知識を習得し、身体状況や栄養状態に応じた栄養管理の考え方を理解する。									
回数	授業計画・学習の主題				SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員			
1	栄養マネジメント（栄養管理）：栄養マネジメントの概要、栄養アセスメントの方法等				2.3	講義			
2	日本人の食事摂取基準：目的、基本的考え方、策定および活用の基礎理論等				1	講義			
3	成長・発達、加齢：概念および成長・発達、加齢に伴う身体的・精神的変化と栄養管理				1.2.3	講義			
4	妊娠期：妊娠の成立等、および妊娠期の栄養管理				1.2.3	講義			
5	授乳期：授乳女性の生理的特徴、栄養アセスメント、栄養と病態・疾患等				1.2.3	講義			
6	新生児期・乳児期：新生児期・乳児期の生理的特徴				1.2.3	講義			
7	新生児期・乳児期：新生児期・乳児期栄養アセスメント、栄養補給法、栄養ケア等				1.2.3	講義			
8	幼児期：幼児の成長・発達				1.2.3	講義			
9	幼児期：栄養状態の変化等、栄養アセスメント				1.2.3	講義			
10	幼児期：幼児期栄養と病態・疾患、生活習慣、栄養ケアのあり方				1.2.3	講義			
11	学童期：学童期の特性、成長・発達				1.2.3	講義			
12	学童期：栄養状態の変化、栄養アセスメント等				1.2.3	講義			
13	学童期：学童期の栄養と病態・疾患、生活習慣、栄養ケアのあり方				1.2.3	講義			
14	思春期：思春期の特性、成長・発達、栄養アセスメント				1.2.3	講義			
15	思春期：思春期の栄養と病態・疾患、生活習慣、栄養ケアのあり方、まとめ				1.2.3	講義			
【使用図書】		<書名>		<著者名>		<発行所>		<発行年・価格 他>	
教科書 (必ず購入する書籍)		シリーズ マスター応用栄養学		市丸雄平、岡純編		建帛社		2,700円・最新版	
		日本人の食事摂取基準（2010年版）		厚生労働省 策定		第一出版		2009	
参考書		健康・栄養科学シリーズ 応用栄養学		戸谷誠之、伊藤節子、渡邊令子		南江堂		最新版	
その他の資料		国民健康・栄養調査報告		健康・栄養情報研究会 編		第一出版		最新版	
【評価方法】 授業態度（出席状況等）の平常点、定期試験等から総合的に評価する				【履修上の留意点】					